

2026 年 7 月 22 日

Hmcomm株式会社

(東証グロース 265A)

Hmcomm、自治体 AI 市場への展開を加速

ー 富山市スマートシティ「SCRUM-T」にて AI 漏水監視プラットフォームを発表 ー

Hmcomm株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：三本 幸司、以下、Hmcomm）は、自治体インフラ分野における AI 活用をさらに推進するため、2026 年 7 月 17 日（金）に Deloitte Tohmatsu Innovation Park で開催された富山市主催のスマートシティ推進プラットフォーム「SCRUM-T」課題提示型ミートアップイベントにおいて、当社執行役員 CAIO（Chief AI Officer）の白井秀範が登壇したことをお知らせします。当日は、守山市での実証を通じて得られた知見を活かし、異常検知 AI ソリューション「FAST-D」の漏水検知領域における取り組みと、AI 漏水監視プラットフォームの構想について発表しました。

本取り組みは、老朽化する上下水道インフラや維持管理人材の不足など、全国自治体が共通して抱える課題に対し、AI による予防保全を実現する新たなアプローチを提案するものです。Hmcommは自治体・公共インフラ分野を重点市場の一つと位置付けており、本登壇を契機として、自治体との実証実験や共同研究、導入に向けた取り組みの創出を目指してまいります。



「SCRUM-T」課題提示型ミートアップイベントで登壇する白井秀範

■自治体インフラ DX を支える AI プラットフォーム

Hm c o m m は、「音×AI」をコア技術として、音声認識 AI、異音検知 AI、生成 AI などを活用したソリューションを展開しています。これまでコールセンターや製造業を中心に培ってきた AI 技術を、社会インフラ分野へ展開し、自治体 DX への貢献を進めています。

近年、上下水道をはじめとする社会インフラでは、

- 老朽化設備の増加
- 技術者不足
- 点検コストの増大
- 熟練技術者の知見継承

などが全国的な課題となっています。

Hm c o m m は、守山市で実施した漏水監視実証で得られた知見を基に、

- AI による広域漏水リスク分析
- 音響 AI による漏水判定の高度化
- AI・IoT を活用した維持管理 DX
- 「探す」から「防ぐ」への予防保全モデル

について紹介し、自治体インフラ維持管理の高度化に向けた新たなアプローチを提案しました。

■自治体 AI 市場への展開

Hm c o m m は、自治体・公共インフラ市場において、

- 音響 AI
- AI 画像・センサーデータ解析
- 生成 AI
- IoT
- データ分析

を組み合わせた AI プラットフォームの構築を推進しています。守山市での実証で得られた知見を活かし、今回の富山市での取り組みを通じて、全国自治体への展開を進めるとともに、自治体・公共インフラ市場における AI ソリューションの社会実装を推進してまいります。

■登壇概要

- イベント名：富山市スマートシティ推進プラットフォーム「SCRUM-T」
課題提示型ミートアップイベント
- 日時：2026 年 7 月 17 日（金）13:30～16:30
- 会場：Deloitte Tohmatsu Innovation Park（東京都千代田区）
- 登壇テーマ：
「探す」から「防ぐ」へ。広域分析×音響 AI による次世代漏水監視プラットフォーム
- イベント詳細：富山市スマートシティ推進プラットフォーム「SCRUM-T」公式ページ
<https://smartcity.city.toyama.lg.jp/news/000331>

■登壇者プロフィール

白井 秀範（H m c o m m株式会社 執行役員 CAIO）

東京理科大学大学院修了。データマイニング・人工知能分野の研究を経て、デジタルマーケティング、新規事業開発、AI プロダクト企画に従事。Tellus では衛星データ×AI の社会実装を推進。現在はH m c o m mにて、AI 技術を軸としたプロダクト開発、新規事業創出、自治体・公共インフラ分野における AI 活用を推進しています。

■今後の展望

本登壇は、自治体との共創による社会実装を推進する取り組みの一環です。

H m c o m mは今後も自治体・公共インフラ市場における AI 活用を推進し、実証実験、共同研究、システム導入を通じて AI ソリューションの社会実装を拡大するとともに、自治体 AI 市場における新たな事業機会の創出を目指してまいります。

■FAST-D について

H m c o m mが展開する「FAST-D」は、音響 AI を中心に、各種センサーデータや設備情報などを組み合わせ、設備や社会インフラの異常を検知する AI ソリューションです。

これまで空港や製造設備などで培ってきた音響解析・異音検知のノウハウを基盤としながら、インフラ監視や予防保全など、幅広い領域への展開を進めています。

漏水検知領域では、守山市での実証を通じて、広域分析と音響 AI を組み合わせ、漏水リスクの把握から漏水判定までの高度化を進めています。本登壇では、これらの知見を基盤とした次世代漏水監視の構想を紹介しました。

■ **H m c o m m**株式会社について

代表取締役社長 CEO 三本 幸司

URL <https://hmcom.co.jp>

設立日 2012 年 7 月 24 日

所在地 東京都港区浜松町 2-10-6 PMO 浜松町Ⅲ4 階

事業内容 人工知能（AI）音声処理技術を基盤とした要素技術の研究・開発およびソリューション/サービスの提供

<本リリースに関するお問合せ>

報道関係者様： **H m c o m m**株式会社 IR 担当 hm_ir@hmcom.co.jp

企業様： **H m c o m m**株式会社 営業統括部 sales_team@hmcom.co.jp

TEL：03-6550-9830 FAX：03-6550-9831